

広報 いっしょ 11

14, November
2013
Vol. 1040

音のプレゼント、 吹奏楽部



- 03 町制施行55周年
表彰式と記念講演
- 06 町総合防災訓練
高まる防災への意識
- 07 全国育樹祭イベント
明日を語り、明日を奏でる飯豊の集い
- 08 地区文化祭
- 10 まちかどNEWS
森の案内人養成講座／2013年産飯豊町こくわワイン新酒
発表会／ハロウィンパーティ ほか
- 12 まちかどスナップショット
- 13 横澤浩雄氏法務大臣表彰受賞／手ノ子地区協議会里づく
り推進委員会雁沢部会環境やまがた大賞受賞／第一小学
校交通安全優良学校表彰受賞
- 14 直伝おふくろの味
- 15 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 16 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 17 健康ikiikiプラス
- 18 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 20 第2回心の古里いいでフォトコンテスト
「光芒のまがり家」

町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



www.town.iide.yamagata.jp



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

今月の

表紙

心を込めて演奏 感謝を込めた花束



同じパートの後輩部員から花束を受け取る3年生部員

11月10日、あ～すで、飯豊中学校吹奏楽部の定期演奏会が行われました。部員29名は、9月の全日本吹奏楽コンクール東北大会で銀賞に輝いた実力そのままに、全12曲を表現力豊かに演奏しました。3年生にとって最後の演奏会となるこの日、2年生以下の部員が「サプライズ卒業式」を企画。3年生1人ひとりに、部活動での思い出や尊敬しているところなどを綴った手紙と花束を贈りました。



町制施行 55周年

昭和33年（1958年）に飯豊村に中津川村が合併し、飯豊町が誕生しました。

今年は何町制施行55周年です。11月3日に、町功労者表彰式と記念講演が行われました。当日の様子をお伝えします。





町制施行55周年

「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」

表彰式と記念講演

11月3日、あすを会場に、町制施行55周年飯豊町功労者表彰式が行われました。遠くは友好都市の千葉県南房総市からも来賓として参列いただくとともに、町内からも広く参加いただき、55周年を祝いました。はじめに、これまで町政

発展のために各分野で活躍された方々に、後藤町長から表彰状が贈呈されました。後藤町長は式辞の中で、功労者への敬意と感謝の言葉とともに、「郷土に誇りを持ち、地域づくりに果敢に立ち向かう人材を養成し、『田園の息吹が暮らしを豊かにするまち』を将来像とするまちづくりにまい進する」と述べました。

式典に続いて「30年後、孫子の時代の飯豊町、見えていますか？」と題した記念講演が行われました。講師は、NPO法人「日本で最も美しい村」連合の松尾雅彦副会長（現カルビー株式会社相談役）。

松尾氏は「伸びる市場に人は投資する。若者の流出

町表彰条例に基づいて、左記の方々を表彰しました。

功労者表彰

〔地方自治功労〕（地方自治の進展に多大の貢献をされた方）

- （故）井上俊雄（多年地区協議会長、教育委員として地域振興に貢献・手ノ子）
- 舟山兵八郎（多年地区協議会長、教育委員長として地域振興に貢献・小白川）
- 山口健（多年地区協議会長として地域振興に貢献・統計調査員46年・高峰）
- 寺嶋清助（国民健康保険運営協議会委員34年・手ノ子）
- 井上吉郎（統計調査員57年・小白川）
- 渡部信一郎（統計調査員47年・黒沢）
- 志田好彰（統計調査員46年・榎）
- 松山孝市（統計調査員40年・榎）
- 大友善次郎（統計調査員35年・川内戸）
- 鈴木太刀雄（統計調査員32年・小白川）
- 伊藤英一（統計調査員26年・添川）
- 渡部義郎（統計調査員26年・手ノ子）
- 佐原守（添川財産区管理会委員20年・添川）

〔教育功労〕（教育の振興に多大の貢献をされた方）

- 粕川孝男（多年スポーツ少年団指導者として社会体育の振興に貢献・萩生）
- 宇津木孝一（多年スポーツ少年団指導者として社会体育の振興に貢献・萩生）
- （故）長岡實（多年芸術文化の振興と文化財保護に貢献・中）
- （故）井上俊雄（多年芸術文化の振興と文化財保護に貢献・手ノ子）

大富國雄（多年芸術文化の振興と文化財保護に貢献・榎）

〔産業功労〕（産業の振興発展に多大の貢献をされた方）

- 舟山兵八郎（白川土地改良区監事21年・小白川）



Photograph

- ①表彰状贈呈後に会場に向かって紹介される功労者の皆さん
- ②地方自治功労と産業功労を受章された舟山兵八郎さん(小白川)
- ③功労者への心からの敬意と感謝の言葉とともに、まちづくりへの誓いを述べる後藤町長
- ④NPO法人「日本で最も美しい村」連合副会長松尾雅彦氏による記念講演



5年間の足跡

The history of five years

町制施行50周年からの5年間を振り返ります

平成21年

- ・バイオマス製造施設完成

平成22年

- ・町の人口 7,943人 (国勢調査)
- ・福祉事業所「でんでん」開所

平成23年

- ・第4次総合計画策定
- ・総合型地域スポーツクラブ「キララ☆」設立
- ・町民の歌「いつも心に」制定

平成24年

- ・地域密着型特別養護老人ホーム「ひめさゆりの丘」完成

平成25年

- ・町立中津川小・中学校閉校
- ・県立置賜農業高等学校飯豊分校閉校
- ・林道「飯豊檜枝岐線・一の木線」開通
- ・喜多方市・飯豊町災害時相互応援協定調印



3. November.2013

による農山村の人口減は、その地の将来に希望が持てないから起こる。食と農を取り戻す農山村には、若者は自らの未来を投資する」と、経営者ならではの観点からまちづくりへの提言をされました。

- 小松武一郎(多年森林組合理事として林業の振興に貢献(添川))
- 山口稔(多年商工会理事として商工業の振興に貢献(榑))
- (故)舟山繁太郎(東京飯豊会創設に尽力・東京都文京区)
- 松山(株)オリブソーイング(操業以来経済振興及び雇用安定に貢献(添川))
- (株)佐竹製作所山形工場(操業以来経済振興及び雇用安定に貢献(添川))
- (株)トップパーツ(操業以来経済振興及び雇用安定に貢献(添川))
- 《社会福祉功労》(社会福祉の増進に多大の貢献をされた方)
- 遠藤嘉昭(多年民生児童委員として社会福祉に貢献(添川))
- 手塚亘(多年不法投棄監視員、衛生組合長として保健衛生の振興に貢献(萩生))
- 《民生功労》(民生の安定に多大の貢献をされた方)
- 後藤光榮(多年交通安全協会活動に尽力し民生の安定に貢献(萩生))
- 二瓶勝巳(多年交通安全協会活動に尽力し民生の安定に貢献(添川))
- 岡田美樹雄(多年防犯活動に尽力し民生の安定に貢献(元消防団長、消防団員37年・高峰))
- 後藤恵一郎(元消防分団長、消防団員34年・萩生)
- 丸山茂(元消防分団長、消防団員33年・小屋)
- 伊藤和憲(元消防分団長、消防団員28年・岩倉)
- 長谷崎文男(元消防分団長、消防団員30年・岩倉)
- 伊藤芳昭(元消防部長、消防団員30年・高峰)
- 大友雅彦(元消防部長、消防団員28年・小白川)
- 遠藤幸一(元消防部長、消防団員25年・手ノ子)
- 高橋信夫(元消防班長、消防団員32年・岩倉)
- 伊藤浩一郎(元消防班長、消防団員30年・小屋)
- 井上清人(元消防班長、消防団員27年・高峰)
- 伊藤忠(元消防班長、消防団員25年・川内戸)
- 伊藤和弘(元消防班長、消防団員25年・萩生)
- 後藤一宏(消防団員26年・高造路)

(敬称略)



県消防防災ヘリによる「広域応援要請訓練」

町総合 防災訓練

2013.10.13

震度6強、震源は
長井盆地西縁断層帯



地震で道路が寸断され救急車の到着が困難な場合を想定した「応急手当訓練」

高まる防災への意識

10月13日、あすを会場に、長井盆地西縁断層帯を震源とした直下型地震と、豪雨による水害を想定した町総合防災訓練が行われました。椿・小白川地区住民、消防団、応急手当普及員、災害時応援協定業者、消防団協力事業所や長井警察署機動隊など約300名が参加しました。

午前7時の緊急招集訓練を皮切りに、応急給水訓練や火災防御訓練など15種類に及ぶ訓練が、本番さながらの緊張感の中で行われました。

あす多目的ホールで行われた応急手当訓練では、負傷者に、けがの重症・緊急度によって緑、黄、赤、黒色の札（トリアージ・タグ）を付けて、手当の優先順位を表示。手当の実演指導に当たった応急手当普及員は、避難された椿・小白川地区の方々に、応急手当の手順と留意点を分かりやすく説明しました。

災害が広範囲に及ぶことを想定し、県消防防災ヘリ「もがみ」の出勤を要請。あす屋上から重症患者の救出救助・搬送訓練を行いました。

河川の水が堤防を越えてあふれ出す「越水」を防ぐため、消防団による積み土のう工法による水防訓練が行われました。

このほか会場には、地震の揺れや火災時の煙による視界不良など、災害時に発生する状況を体験できるコーナーが設けられました。

濃煙体験



ハンカチを口元に当て、煙が充満したテントの中で視界不良を体験。出口は反対側

救出救護訓練



倒壊家屋から救出された負傷者を、毛布と角材で作った担架に乗せて救急車まで運ぶ椿地区と小白川地区の方々

炊き出し訓練



日本赤十字奉仕団の方々、椿地区と小白川地区の食生活改善推進員と婦人会の方々による炊き出し訓練

森林共生

手入れされた森は、光が入る。
 光りが花を咲かせる。
 花は昆虫を、昆虫は鳥を呼ぶ。
 鳥が種を運ぶ。森が広がる。
 手入れされた森は、風が通る。
 病気の木が少ない。
 木が育つと葉っぱと実が増える。
 滋養のある土になる。
 動物が増える。動物が種を運ぶ。
 森が広がる。

ニコル氏の講演より



10月13日、源流の森で、全国育樹祭のイベント「明日を語り、明日を奏でる飯豊の集い」が行われました。県内外から71名が参加し、白く輝くブナ林で講演などを聞きながら、森林との共生について理解を深めました。

特別ゲストとして、英国ウェールズ出身の作家で環境保護活動家のC・W・ニコル氏が招かれ、「森に感謝し、森と共に生きる」をテーマに講演を行いました。

その後、澁澤寿一氏と織田洋典氏を交えて、意見交換が行われました。ほかにアルプホルンの演奏も行われました。



意見交換の様子。左からニコル氏、澁澤寿一氏、織田洋典氏



ブナに囲まれた会場。巨木のそばに腰を下ろす参加者たち

○ニコル氏の講演要旨



初めて日本に来たとき森の樹種の多さと生き物の多様性、そして行き届いた手入れに感動して涙が出ました。日本人は森との付き合い方が素晴らしいと感じました。

しかし、一度日本を離れ再度来日すると、暗い森が増えていました。伐採された森の熊は、畑を荒らすようになりました。熊は罠にかかり13頭も殺されました。

ウェールズのある炭鉱地域のお話です。かつてその地域の大部分の森が伐採され荒れた山が広がりました。終戦後復員した3人の先生は、

子どもたちにこれから何を教えていくべきか考えた末、荒れた土地に木を植えました。そして「協力する、生き物を大事にする、地域の歴史や生態系に誇りを持つ」、そして「未来を信じる」ことを教えました。

1966年、アベルヴァン村のボタ山が大雨で崩れ、小学校を含む一帯を押しつぶし多くの犠牲者が出ました。すると、3人の先生の教えを学んだ人たちが「山に木を植えよう」と運動を始めました。今では、その地域の町や村の周辺が緑に変わり国立公園になっています。

地区文化祭

Cultural
Festival

文化の秋を
楽しむ

秋の収穫作業を

終えてホッとひと息

の10月下旬から11月

上旬。町内各地区では、

公民館や小学校を会場に、

文化祭が開催されました。

劇や芸能発表、もちつ

き大会、農産物や手打ち

そばの販売など、地区ご

とに魅力あふれる催事が

行われ、多くのお客さま

で賑わっていました。

また、会場には地域活

動の記録写真、サークル

や子どもたちの作品など

が所狭しと展示され、訪

れた方々の目を楽しませ

ていました。

文化祭への係わり方は、

作品出展、芸能披露、観

客、裏方など、それぞれ

異なりますが、皆さん一

様に文化の秋を満喫して

いました。

中部地区



→小学生も笛と舞を披露した芸能発表会
←ネクタイを利用した手提げかばん



白樺地区



→昔の遊びを楽しむ子どもたち
←和の装飾で一層映える盆栽と掛け軸



東部地区



→老若男女で賑わうもちの振る舞い
←絵筆で描いたようなちぎり絵



芸文協 40th



感謝状授与の様子

飯豊町芸術文化協会設立40周年 記念事業として「総合芸術祭」が行われました

10月18日から20日にかけて、飯豊町芸術文化協会設立40周年記念事業として「総合芸術祭」が行われました。

期間中、会場となった「あ～す」には、園芸、写真、短歌、川柳などが展示され、多くの方が来場して作品を鑑賞しました。

最終日の20日には、多目的ホール内で記念式典と芸能発表会が行われました。式典では、芸術文化の普及振興と協会の発展に寄与された方々に感謝状と功労賞が贈られました。式典に引き続き、今年で40回目となる芸能発表会が行われました。町内の17団体約100名が出演し、合唱、日本舞踊、和太鼓など、多種にわたり日頃の練習の成果を発表しました。各団体の趣向を凝らした演出に、満員の客席から大きな拍手が送られました。

○表彰者一覧

感謝状／芸術文化の普及振興に物心両面にわたり尽力された方

・大富國雄氏・佐藤順一氏・米野キヨ子氏

功労賞／芸術文化の普及振興に多大な業績をあげ、その功績に顕著な方

・手塚悦郎氏

○飯豊町芸術文化協会とは

飯豊町における芸術文化の普及奨励振興と、その育成保護に寄与するとともに会員相互の融和と親睦を深め、文化的教養を高めながら明るく楽しい町づくりを目指す団体です。



←そろいの衣装でしなやかな舞

↓展示品は見応え十分の力作ぞろい



西部地区



中津川地区

↑体育館が狭く感じるほどの長い手巻き寿司



←流木の形を生かした作品

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課情報防災室まで（直通 ☎ 87-0522）



森の案内人養成講座

自然と人の仲介者を育成

10月5日と6日、源流の森で「森の案内人養成講座」が行われ、町内外から11名が参加しました。同講座は県が企画し、今年2回目の開催。中津川地区の暮らしやゲストへの接し方、草木を使った体験ゲームの進め方など幅広い内容の講義が行われました。中でも、NPO法人飯豊朝日を愛する会の井上邦彦副理事長が講師となった安全研修は、豊富な山岳救助経験をもとに実践的な研修が行われ、参加者たちはひときわ真剣な表情で受講していました。



ハロウィンパーティ

かわいい“お化け”たち



10月19日、こどもみらい館で、NPO法人ほっと（高橋エミ理事長）による「ハロウィンパーティ」が行われました。親子など10組が参加して、仮装用の帽子とマントを手作りした後、訪問を伝えていた3施設を回りました。「ハッピーハロウィン！」と呼び掛ける子どもたちに、施設の職員や利用者からお菓子のプレゼント。受け取る際には、きちんとお辞儀をする礼儀正しい“お化け”たちでした。

2013年産飯豊町こくわワイン新酒発表会

今年の出来をテイスティング



10月9日、物産館で、町こくわワイン販売促進会議（佐藤千壽会長）による「こくわワイン新酒発表会」が行われ、町内外から約70名が参加しました。乾杯に先立ち醸造元の（有）佐藤ぶどう酒（南陽市）から、今年の出来について「酸味と甘味のめりはりの利いたバランスの良い仕上がり」と紹介がありました。会場には昨年と一昨年産の試飲コーナーも設けられ、参加者は新旧の味を確かめながら飲み比べていました。



椿焼裏山窯跡発掘調査現地説明会

県内初、17世紀以前の窯跡

10月6日、椿地区財津堂地内で「椿焼裏山窯跡発掘調査現地説明会」が行われました。窯跡の存在は昭和30年代から知られ、昭和50年には一般調査が行われました。今回の発掘調査は、窯と物原（窯場のごみ捨て場）の残存状況を確認するため、今年9月から、県立米沢女子短期大学日本史学科といいで歴史考古の会によって進められていました。説明会では、当窯の考古学的な価値と隣県の窯との関係性などが説明されました。現在、窯跡は埋め戻されています。

エコキャップ運動

集まった善意の気持ちを託す



10月27日、西部地区公民館で、エコキャップ運動として集まったペットボトルキャップの引き渡しが行われました。この運動は、キャップをリサイクル業者に売却し、収益金で発展途上国の子どものポリオワクチンを購入するもの。昨年春から西部地区公民館に回収箱を設置し、地域の方々へ提供を呼び掛けました。この日、前週までに集まった約13,000個（860個で1人分のワクチン）が引き渡されました。

第10回宇津峠歩こう会

学んで歩く峠道



10月20日、手ノ子地内で「宇津峠を歩こう会」が行われました。同イベントは、手ノ子地区協議会宇津峠部会（高橋純部会長）の企画で毎年開催されています。今年は町内外から56名が参加し、旧跡や遠望地に立てられた案内看板やガイドの説明を聞きながら、片道2.7kmの峠道を歩きました。開催10回を記念して、参加者には宇津峠の草花を収録した小冊子のプレゼントや下山後にもちが振る舞われました。



添川昭和地区にビオトープ完成

豊かな水辺環境を再現

10月19日、添川地区に、昭和地区農地・水・環境保全会（佐原守代表）が整備を進めていたビオトープ（多様な動植物が存在する空間）が完成し、記念の釣り大会が行われました。ビオトープ整備のきっかけは、同保全会と子ども会育成会が行った水生生物調査で、生物の減少が見られたこと。開会式で佐原会長は「多様な動植物が生息し、地域の多くの方にとって憩いの空間になることを願っています」とあいさつ。この池での釣りは、予約不要で誰でも楽しめます。

まちかど



スナップショット

「まちかどNEWS」で紹介しきれない地域のできごとを1枚の写真でご紹介します



10/4

親子で竹馬づくり
(いいで中部幼稚園)



10/1

赤い羽根共同募金チャリティー「ふれあい
グラウンド・ゴルフ大会」(スワンパーク)



10/13

町民登山「蔵王紅葉トレッキング
」(蔵王)



10/12

東部少年教室わら細工学習
(しらさぎ荘前の園芸ハウス)



10/12

親子自然ふれあい体験「うどん打ち
& ネイチャークラフト」(自然の家)



10/22

長井西置賜魚商組合によるサン
マの振る舞い (さゆり保育園)



10/21

添川小5・6年生の里いも販売
体験学習 (ふるさとショップ)



10/17

町高齢者体育レクリエーション
大会 (あ～す)



10/25

ミニ運動会
(こどもみらい館)



10/23

簡単クッキング
(こどもみらい館)



10/23

農都交流プロジェクト2013ワー
クショップ (フォレストいいで)

法務大臣表彰

横澤浩雄さん（黒沢）

“心をときほぐす対話”を心がけ20年
罪を犯した人の改善更生と犯罪の予防啓発に力を注ぐ

9月25日、横澤浩雄さん（黒沢）が、法務大臣表彰を受賞されました。保護司として、長年にわたって犯罪や非行をした人の社会復帰支援と犯罪予防に尽力された功績が称えられての受賞です。

横澤さんが保護司になられたのは平成6年、57歳の時。保護司会飯豊分会から保護司就任を願われたことがきっかけ。はじめはその責任の重さを考え辞退されていましたが、熱心に請われるうちに「これまでの人生経験が社会の役に立つならば」と決心されました。

20年間で、延べ4人の保護観察対象者を担当されました。担当する期間は罪の重さによって異なりますが、期間中は毎月彼らの来訪を受けて対話を重ねます。また、横澤さんが彼らを訪ねる「往訪」も原則毎月行われます。

受賞について横澤さんは、「妻の助けがあったから」と話されます。そして、1枚の賞状を取り出されました。それは奥さんが受賞した山形保護観察所長からの感謝状。保護司の妻としてその活動を支えた功績が称えられたものです。いわば“内助の功労者”表彰。「妻の理解があったからこそその20年です」と、感謝の気持ちを話されました。



受賞の報告に来庁された横澤浩雄さん

環境やまがた大賞

手ノ子地区協議会 里づくり推進委員会 雁沢部会

10月27日、手ノ子地区協議会里づくり推進委員会雁沢部会（尾形松弘部会長）が「環境やまがた大賞」を受賞しました。同賞は、優れた環境保全活動を実践している個人または団体に贈られます。

雁沢部会は、区内を流れる雁沢川を「ホタルがすめる環境にしよう」と平成17年から活動を始め、清掃・草刈り、ホタルの幼虫飼育、そして子どもたちと一緒に放流会などを行っています。7月初旬にはホタル祭りを開催し、地域を挙げた活動に発展しています。



井上俊一手ノ子、尾形部会長、今久繁副部会長
地区協議会長

山形県交通安全対策協議会長「交通安全優良学校表彰」

第一小学校

10月29日、上山市で山形県交通安全県民大会が行われ、席上で、第一小学校に山形県交通安全対策協議会長（吉村県知事）より「交通安全優良学校表彰」が贈られました。多年にわたる学校での交通安全教育と、家庭や地域と連携した交通安全教育の功績が称えられての受賞です。

木村曉^{あつき}児童会運営委員長は、「道路を横断するときに、車を止めて私たちが渡らせてくれた運転手に、お礼のあいさつを頑張っています。優しさへの感謝の気持ちが交通安全につながると思います」と話してくれました。



熊谷綾華副運営委員長、木村曉運営委員長

直伝おふくろの味



野菜の甘みとほどよい酸味 お豆のケチャップ煮

【材料】 4人分

◇キャベツ	300g
◇タマネギ	1個
◇ニンジン	40g
◇ウインナーソーセージ	3本
◇大豆水煮	100g
◇コーン	40g
◇バターまたはマーガリン	大さじ $\frac{1}{2}$
◇水	220cc
◇コンソメ	1 $\frac{1}{2}$ 個
◇しょう油	小さじ $\frac{1}{2}$
◇トマトケチャップ	大さじ3

【作り方】

- 1 バターを溶かした鍋に、ざく切りのキャベツ、薄切りのタマネギ、いちょう切りのニンジン、小口切りのウインナーソーセージを入れて軽く炒める。水とコンソメを入れてふたをして中火で煮込む。
- 2 火が通ったら、大豆とコーンを加えてサッと火を通す。しょう油とトマトケチャップで味を整えたら出来上がり。

もう一品ほしい時にオススメ。 簡単ヘルシー料理です



樺地区
食生活改善推進員
高橋トヨ子さん

私は、料理本や雑誌の料理コーナーなどで、おいしそうなレシピを見つけるとは、ファイルにして保存しています。この料理もその中の一つです。

材料は、家庭の冷蔵庫を開ければ揃うようなものがほとんど。手間もかからず短時間で出来る料理なので、「もう一品あったらな」と思った時にすぐに作れて便利です。

冷めてもおいしいですが、大豆のポクポク感やトマトケチャップの酸味と野菜の甘みを十分に味わっていたために、湯気の立つ温かいうちに食べていただきたいですね。

水の量を変えて、たっぷり水でトマトスープに、少なくしてお弁当のおかずにと、簡単にアレンジできます。

皿に盛り付けた後、パセリを振りかけると、緑色がトマトの赤を際立たせ、いっそう箸が進みます。



こどもみらい館の予定表 (11月・12月の日程)

11月19日(火) 10:00～	簡単クッキング	要予約
20日(水) 10:30～	あそびの広場	
21日(木) 10:30～	親子交通教室	
27日(水) 10:30～	保健師さんの指導	
12月4日(水) 10:30～	おはなし広場	
7日(土) 9:30～	おやこであそぼう	要予約
11日(水) 10:30～	かんがるー広場	
12日(木) 10:15～	栄養士さんの指導	要予約
14日(土) 10:30～	ブックスタート	
18日(水) 10:30～	あそびの広場・避難訓練	

おやこであそぼう お店屋さんごっこを中心
 12月7日(土) 9:30～ に楽しいこと盛りだくさん。愉快なピエロもやって来ます。 要予約
 こどもみらい館

episode

子育て応援
 談
 kosodate
 ouendan

子育ての友

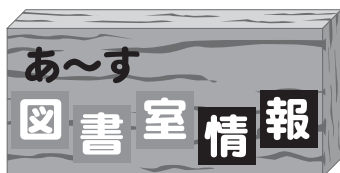
「子どもと一緒に友だちづくり」

初めての子どもを保育園に入園させたとき、地区外の保育園だったこともあり、喜びより不安の方が大きくオロオロしていたことを思い出します。帰宅した息子の「楽しかったよ」の一言に安心しました。子どもって「すごい」ですね！

子どもは3歳から4歳頃に友だちと遊びたい気持ちが強くなります。保育園や幼稚園などは友達づくりに最適。子どもだけではなく保護者同士の友達づくりにも。子育ての嬉しさや迷いを共感してくれたママ友や先生方は大切な存在です。今でも成人した子供たちのことを話したり、老後のことなどにぎやかにしゃべり合っています。身近に何でも話せる人をたくさん作っておくといいですよ！今では孫つながりで積極的にババ友を作って楽しんでいます。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日
 利用時間/8:30～12:00、13:00～17:00



今月の おすすめ図書



児童図書

おやこで作ろう こどもお菓子部

福田里香/著 新潮社

おどるくまさんクッキー、お花のベジタブルサラダ、きんいろ雲のわたあめ、すいかのフルーツタルト、こどもビール…。大人もこどもも遊び感覚で楽しんで作れる、お菓子のレシピを紹介します。



児童図書

ばばあちゃんの クリスマスかざり

さとうわきこ/作・絵 福音館書店

今日はクリスマス。ばばあちゃんは子どもたちと一緒に、クリスマスかざりを作ります。発泡スチロールの箱や板を切り抜いて、針金や木の枝も使って…。ばばあちゃんのアイディアが光る楽しい工作絵本。

一般図書

さわらびの譜

葉室麟/著 角川書店



扇野藩重臣、有川家の娘・伊也は、藩随一の弓上手である樋口清四郎と渡り合う腕前。清四郎に惹かれる伊也だが、妹の初音に清四郎との縁談が。藩内の派閥争いが彼らを巻き込み…。

一般図書

図解でわかる最高に楽しい住宅デザイン

岡村泰之/著 エクスナレッジ



住まい方・暮らし方・使い方を写真で読み解くほか、階段や廊下、部屋など、部分から快適空間を考える。テーマ別暮らしを彩る「こだわり」図鑑を収録。

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・祝日・年末年始
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



ソフトボール

財津堂ソフトボールクラブ

- ◆監督／高橋弘之さん(椿)
- ◆活動内容／常に優勝を目指して町大会や西置賜・置賜大会に出場。練習は飯豊球場やスポーツセンター屋内運動場で行います。
- ◆会員募集対象
年齢・住所は不問。野球・ソフト経験者歓迎

●財津堂ソフトボールクラブへの入会・見学などのお問い合わせは、お知り合いの会員の方、もしくは高橋弘之監督まで☎72-3741

◆ピーアール

昭和61年に椿地区財津堂の青年達を中心に結成され、今年で27年が経ちました。現在は、親子二代にわたって所属するメンバーも含め、町内外の18名で活動しています。町内のチームで初のウィンドミル投法のピッチャーを育成し、県社会人大会で上位入賞を果たすなど現在も置賜を代表とするチームとして、練習を重ねています。「ソフトボールは野球と違いスピード感があり、一つのミスがゲームの流れを大きく変えるスポーツです。細かい戦術を駆使し、各自がチームプレーに徹することを心掛けています」と高橋監督は話します。



高橋さんにとって
ソフトボールとは…
世代を超えた地域の和と
仲間作り

▲高橋弘之さん

連載 町長の思ふ歩き

「冬の花火」

52

後藤 幸平

花火は本来真夏の風物である。浴衣にうちわのイメージが定着している。その花火が、立冬を過ぎた十一月九日に打ち上げられた。神輿と獅子舞などが一堂に会した「萩生ふるさと秋まつり」のフィナーレである。主催者の挨拶に「今年最後の花火打ち上げです」との熱い言葉があった。人間のこころは実に不思議なものである。燃え盛る炎をみても厳しく冷たい現実には打ちひしがれるときがあれば、凍りつくような雪原の葦に暮れ行くものへの温かな情感がにじみ出るときもある。であるなら、冬の夜空に打ち上げられた花火に人々は何を感じ取ったのだろうか。

飯豊のまちづくりで特色をひとつだけあげるなら、「小集団活動」だろう。地域協議会やサロンとサークル、集落活動などだ。全国には無数の活動グループがある。しかし、土地利用計画に始まり、それぞれの地域資源を活用し中長期の目標と将来像を描いて部会活動を行なうまでに掘り下げて実践している例は決して多くはないように思う。山村留学や農村と都市の交流、蛍の里づくり、水芭

蕉湿原や古道の復元、雪明かりのまち、城跡と歴史のまちづくり、展望台整備や伝統行事の再興などのほかに、神社仏閣ごとの祭事があり、地域社会の暮らしと生業に彩と絆と活力をもたらし、人材を育てている。

以前、全国町村会で新聞に意見広告を出したことがあった。「日本人よ、故郷をなくして どこへいくのですか。」とのタイトルが感動と共感と呼んだ。「わたしたち、日本人は、古代から自然との共生を大切にしてきました。(略)このかけがえのない『ふるさと』が、いま、危機に直面しています。『ふるさと』を失うことは、『日本』を失うこと。日本人のアイデンティティーを永遠に失うこと。わたしたちは、そう確信します。」と結んでいた。

「冬の花火」は、歳時記からすれば唐突な着想かもしれない。しかし、村の再生とにぎわいの再現を目指した結論であるならばまったく違って見える。震えるような寒さの中で天空の花火を見つめる人々の目は、明日への手がかりを得て、うっすらと潤んでいるように見えた。

健康福祉課からの健康コラム

health column

健康に関する身近なテーマを2つ取り上げて、皆さんの健康づくりを応援します。

- 今月の
テーマ
- ・ 歩こう
 - ・ 転倒予防②



成人の平均歩数

現状 (平成22年度)		
	男性	女性
20~64歳	7,841歩	6,883歩
65歳以上	5,628歩	4,585歩

目標		
	男性	女性
20~64歳	9,000歩	8,500歩
65歳以上	7,000歩	6,000歩

健康日本21より

季節も冬間近となり、気温もだいぶ寒くなってきました。体も前かがみになり猫背になりがちです。冬は元気に動き回れるような季節ではありませんが、健康のために運動をして体を動かすことは必要です。でも「運動」というと億劫(おっくう)だったり、何をしたら良いのだろうと思いますよね。「歩く」ことを意識してみませんか？ 歩くことは最も基本的な身体活動であるとともに、健康づくりにとても役立ちます。「健康のために1日1万歩」とは、みなさんよくご存じだと思いますが、成人の平均歩数は左表のようになっており、まだまだ1万歩にはほど遠い数字です。多く歩く職業の方もいますが、デスク仕事の方は1日の歩数が5,000歩に満たない方も多くいます。

プラス
+10から始めよう

今より10分多く体を動かすことで健康寿命を延ばせます。どうでしょう。忙しくて運動なんてできないという方でも、10分間の時間をつくることはそう難しくないのではないでしょうか。まずは+10から始めましょう。10分のウォーキングは約1,000歩に相当します。雨や雪がちらついてウォーキングができなかったり夜遅い場合はラジオ体操や足踏み、ストレッチなどでも結構です。とにかく1日10分は体のために時間を取ることが大切です。寒い時期には体がかじかんで硬くなっていますから、準備運動として首から下へ順番に関節をゆつくりと動かし体を和らげます。また、温かい屋内から寒いところへ急に出ると、血管が収縮し血圧が急上昇しますので、いきなり外に出てすぐ運動するのはなく準備運動などで体を慣らしてから始めましょう。

仕事も趣味も、何事も健康が資本です。今日から10分間のメンテナンスを習慣づけましょう。



転ばぬ先の予防②

みなさん片脚立ちで靴下をはけますか？ 45歳を過ぎると筋力とバランス能力の低下が進みます。バランスを崩しても瞬時に反応して転ばないための「脚力と平衡感覚」を養いましょう。

今回はバランス能力を鍛える運動を紹介します。

●片脚立ち

【目標】左右1分間ずつ1日3回

○転倒しないように必ずつかまるものがある場所で行います

○床につかない程度に、片脚を上げます

・支えなしで移動できる方

・移動に杖や支えが必要な方



両手をつく方法



片手をつく方法

☆ポイント

・姿勢をまっすぐに

・支えが必要な方は、机に手や指をしっかりと行って行いましょう。

飯豊町役場

電話 0238-72-2111

FAX 72-3827

ホームページ www.town.iide.yamagata.jp

Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

油流出事故にご注意ください

灯油などの油の使用が多くなる季節です。次のことを守り、油流出事故を防ぎましょう。

- 給油中は絶対にその場を離れない
 - 給油した後は必ず閉閉バルブがきちんと閉まっているか確認する
 - タンクや給油管を定期的に点検する
 - 落雪や除雪時の配管の破損に注意する
- ※油流出事故が起きたり、流出を発見した場合は速やかに下記まで通報ください

◆連絡先／役場住民税務課生活環境室
☎87-0514

消防署飯豊分署☎72-2222

銃器犯罪のない安全な社会を築くためにご協力ください

警察では、皆さんからの情報で拳銃が押収されて犯人が検挙されたとき、銃1丁につき10万円を目安として報奨金を支払う「拳銃110番報奨制度」を実施しています。

また、拳銃に限らず、お寄せいただいた情報で事件が解決した場合10万円を限度として報奨金を支払う「匿名通報制度」を実施しています。積極的な通報をお願いします。

◆問合せ先／長井警察署☎84-0110

○拳銃110番／☎0120-10-3774

○匿名通報／☎0120-924-839

第6回置賜囲碁リーグ戦

◆日時／12月8日(日) 10:00～

◆会場／えくぼプラザ(南陽市)

◆参加費／1,000円

(高校生以下500円)

◆問合せ先／南陽囲碁会事務局・平吹
☎0238-43-5832

やまがた婚活サポートセンター

やまがた婚活サポートセンターは、1対1のお見合いをお手伝いします。

プロフィールなどを登録し、会いたい方とのマッチング。そして出会いの場の設定をサポートします。

◆登録／会員登録が必要です。登録料は平成26年2月28日まで8,000円、3月1日以降は10,000円です

◆申込・問合せ先

やまがた婚活サポートセンター

山形市あこや町1丁目4番4号

☎023-687-1972(9:00～17:00)

標準営業約款制度「Sマーク」をご存じですか

厚生労働大臣認可の約款に従って営業することを登録した理容・美容店、クリーニング店、めん類飲食店、一般飲食店では「Sマーク」を掲げています。

Sマークは、安全・安心・清潔を約束するお店の目印です。



◆問合せ先

(公財)山形県生活衛生営業指導センター☎023-623-4323

無料「調停」相談会のご案内

裁判所で行われる「調停」は、当事者間の紛争解決に使える簡単で便利な方法です。調停手続きや利用方法などについて、秘密厳守・無料でご相談に応じます。

◆日時／11月26日(火) 10:00～15:00

◆場所／置賜生涯学習プラザ(長井市)

◆相談員／長井調停協会員

◆その他／予約不要です

◆問合せ先／長井簡易裁判所内
長井調停協会☎88-2073

山形県最低賃金について

山形県の最低賃金は従来の1時間654円から1時間665円に変更になります。この最低賃金は、10月24日から効力を発生し、県内で働くすべての労働者に適用されます。

◆問合せ先／山形労働局労働基準部
賃金室☎023-624-8224

野川土地改良区の職員を募集します

◆募集人員／若干名

◆受験資格／下記すべてに該当する方
①昭和61年4月2日以降に生まれた方で、高校電気科卒業(同等の資格保有を含む)以上の方(平成26年3月までに卒業見込みの方を含む)

②普通自動車運転免許(AT車限定を除く)を有する方(平成26年3月まで取得見込みの方を含む)

③飯豊町または長井市に在住の方(予定も含む)

◆受付期間／12月2日(月)～24日(火)

◆一次試験日／平成26年1月18日(出)

※二次試験は一次試験合格者に通知

◆試験会場／野川土地改良区(長井市)

◆採用予定日／平成26年4月1日

◆申込・問合せ先

野川土地改良区総務課☎84-1294

山形大学医学部付属病院 肝疾患相談室のご案内

山形大学医学部付属病院では、肝疾患相談室を開催しています。肝炎・肝硬変・肝がんなど肝臓病の患者さんやその家族からのあらゆる相談に無料で応じています。

◆相談方法

毎週月・木曜日に電話相談

☎023-628-5881(13:00～16:00)

こせきのほど
戸籍の窓

(10月届け出分)

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
椿 川崎 結菜ちゃん	（優利 一香）	
萩生 小松 輝煌蘭ちゃん	（智恵 光）	
萩生 山口 絆月くん	（雄瑞 也穂）	
小白川 新野 未空ちゃん	（智聡 明美）	
萩生 嶋貫 新太くん	（大奈 地美）	

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
椿 椿第一 伊藤 和英さん	78	
添川 嘉藤 保さん	85	
萩生 高野 小浦 富士子さん	72	
萩生 萩生町 渡部 幸子さん	61	
添川 大旦 安部 良市さん	78	
中 南新田 嶋貫 キクエさん	84	
中 北酒町 長岡 廣一さん	86	
椿 財津堂 鈴木 重美さん	96	
中 南新田 川村 チエさん	82	
下屋地 後藤 みさをさん	94	
萩生 石原 小山 まさゑさん	89	
中 北新田 関 正夫さん	80	
添川 長谷部 トマスさん	88	

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

10月分 () 内は対前月比			
世帯数	2,401 (-2)	転入	13
人口	男 3,829 (-4)	転出	13
	女 4,061 (-5)	出生	5
計	7,890 (-9)	死亡	14

児童虐待防止推進月間
みんなの力で子どもを守ろう

11月は児童虐待防止推進月間です。虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときや、ご自身が出産や子育てに悩んだときは、ご相談ください。

◆相談窓口

○「虐待かも」と思ったら

☎0570-064-000

※地域の児童相談所につながります

○子育て支援に関すること

役場教育文化課子育て支援室

☎87-0518

「地方都市の中心市街地活性化」
講演会のお知らせ

◆日時／11月28日(木) 15:30～

◆場所／TASビル(長井市)

◆講師／経済産業省中心市街地活性化室
夏目健夫室長

◆申込方法／定員100名(先着順)。参加希望の方は11月21日(木)まで住所と氏名をお知らせください

◆申込・問合せ先

長井市商工振興課☎87-0826

✉shokan@city.nagai.yamagata.jp

教育委員会委員

教育委員会委員として、山口千鶴子氏(椿)が再任されました。

現在の教育委員会の委員は下記の方々です。

- ①伊藤榮造氏(委員長・高峰)
- ②井上俊幸氏(委員長職務代理者・添川)
- ③後藤通雄氏(岩倉)
- ④山口千鶴子氏(椿)
- ⑤佐藤晴樹氏(教育長・中)

公立置賜総合病院公開講座
「置賜の明日の医療を考える」

近年の医療のキーワードは「在宅」。公立置賜総合病院では、病院、かかりつけ医、訪問看護、介護といった地域の医療資源の有効活用に向け「医療提供体制」にスポットを当てた無料公開講座を開催します。

◆日時／11月30日(土) 13:30～

◆場所／TASビル(長井市)

◆内容／講演とパネルディスカッション

○講演

講師…山形大学大学院医学系研究科
医療政策学講座 村上正泰教授
演題…「超高齢社会における医療提供体制の将来像」

○パネルディスカッション

パネラー…山形県看護協会訪問看護
ステーションベにばな 徳田喜恵子
所長、おぐに訪問看護ステーション
伊藤和子看護師長

◆その他／事前に申し込みが必要です

◆申込・問合せ先／公立置賜総合病院
医療連携・相談室 伊藤

☎0238-46-5000(内線1410)

林業退職金共済制度の
お知らせ

林業の仕事をしていなかったことはありませんか。林業退職金共済制度(林退共)に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。また、林業の仕事をしていなかったが、林退共に加入していたか分からない方についてもお調べいたします。

◆問合せ先／(独)勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部

☎03-6731-2887

どぶろく研修会・
新酒発表会のお知らせ

どぶろく特区認定10年を記念した研修会(講演・事例発表)を行います。また、同日に新酒発表会を行います。

◆研修会／11月28日(木) 13:30～

会場は「あ～す」、参加費無料

◆新酒発表会／11月28日(木) 18:00～

会場は「いいで旅館」、参加費4,000円

◆申込・問合せ先／役場商工観光課
観光交流室☎87-0523

◇今年(11月)は町制施行55周年。先月の「随想 町長の見て歩き」に、経過年数によって結婚記念日に名前を付けて祝うイギリスの風習が掲載されました。年数が経つほどに高価なものへと名前が変わり、25年の銀婚式や50年の金婚式は広く知られています。が、それ以外となると、「見て歩き」では、70年のプラチナ婚まで名称が列挙されていません。これ以上の結婚記念日の名称は?と思いついてみると、85年までありました。名称は「ワイン」。熟成の状況によってその価値を高め続けることができるワイン。納得の名称でした。(かつみ)



第2回 心の古里いいでフォトコンテスト

テーマ：ふるさとを感じさせる飯豊の風景、自然と四季・人・花・樹木

特別賞 「^{こう} ^{ぼう} 光芒のまがり家」



ISO400 1/400秒 F14

佐藤秀明審査員の講評

逆光気味の秋の光がとてもドラマチックです。曲がり家も童話に出て来そうなたたずまいですね。左下の畦道の影が少し気になりますが素晴らしいです。

審査員 佐藤 秀明 氏

日本大学芸術学部写真学科卒業後、世界中の辺境を旅し、自然と人間、文化を独自の視野で撮り続けておられます。

⑤

Series

掲載順について
季節に合わせて受賞作品を掲載します

受賞のよろこび

このたびは特別賞ありがとうございます。飯豊町に被写体を求めて数十年になります。散居集落や山里集落、うつろう季節など、私のふるさとのように町内・山内を走り被写体を求めております。

飯豊山がどっしりと構え、心がやすらかになり楽しんでおります。秋の朝霧にうもれたまがり家の桜の木が紅葉し、光芒がさし、あわててシャッターを切りました。自然の現象に感謝です。

松木 勇紀 さん（南陽市）